

賛助会員趣意書

自閉症は、脳の機能障害によるコミュニケーションや社会的な関係を理解することが困難な障がいです。

相模原市自閉症児・者親の会（相模原やまびこ会）は、市内に在住する自閉症児・者の医療、教育、福祉等の向上を願い、昭和58年4月に設立され、平成25年には30周年を迎えました。今日まで行政及び教育委員会への働きかけや、地域社会において『自閉症』という障がいを正しく理解して頂くための講演会・作品展の開催、会報発行等の活動、キャンプ・運動会・旅行等レクリエーションの実施、更に地域における自閉症者の働く環境を確保するための作業所、法人通所施設の建設に関わって参りました。

親たちの「我が子に一人の人間として、生まれ育った地域であたりまえの生活を実践させてあげたい」という思いがこの会の活動を支えています。

相模原やまびこ会は今後も広く地域に居住する自閉症児・者の福祉の向上に寄与して参る所存です。

※ 上記の活動にご理解頂き、ご支援くださいます賛助会員の方を募集しております。ご協力をお願いいたします。

相模原市自閉症児・者親の会
会長 清水 美代子